

3学期もよろしくお願いいたします。

校長 吉田 知弘

3学期が始まりました。改めまして、昨年中は本校の教育活動に様々な形でご協力、ご支援を賜り、誠にありがとうございました。今年も教職員一同、生徒たちのために誠心誠意努力いたします。保護者、地域の皆様方には、本年も変わらず、ご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

すでにご案内の通り、1月7日(木)に東京都を含む1都3県に「緊急事態宣言」が再び発令されました。緊急事態宣言が発令されたことにより、学校生活にもいくつかの変化や影響があります。毎日の学校生活の流れ(1時間目から6時間目までの授業や給食など)はこれまでと大きく変わりませんが、緊急事態宣言発令中の1か月間は、部活動や校外へ出かける行事などはすべて中止になります。部活動の大会や2年生のスキー移動教室も残念ながら中止になりました。楽しみにしていた生徒も多いと思いますが、今は一人一人が自分の健康と自分の家族の健康を第一に考えて、我慢して欲しいと思います。始業式では、「私たち一人一人の行動や心がけがいつか全体の幸せにつながると信じてみんな頑張りていきましょう。」という話を生徒にしました。

さて、3学期は授業日数が1・2年生は53日、3年生は49日という1年で一番短い学期です。また、1月・2月・3月の語呂合わせから「行く・逃げる・去る」とも言われるように過ぎるのが大変早く感じる学期でもあります。

3年生にとっては、3学期は進路決定の大切な時期です。この間、目標としている進路希望の実現に向け、学習に全力投球すると思いますが、ここでの勉強は4月からの新しい生活でも必ず役に立ちます。中学3年間の締めくくりでもあり、4月からの準備でもあるこの3学期を悔いなく過ごしてください。

2年生は3年生からバトンを受け、すでに多くの場面で“学校の顔”としてその中心的役割を担ってくれています。3学期は最上級生となる4月に向け、態度でも心構えの面でも準備していくラストスパートの時期です。お世話になった3年生が安心して卒業していけるよう全力で頑張りましょう。

1年生は卒業期の学校行事を通して、2年生をしっかりとサポートすることが、皆さんが4月からなる「中堅学年」に求められる「先輩を助け、後輩のよき手本」となる準備機会となります。自分たちが“狛江一中の屋台骨”であるという自覚をもち、より一層の成長を見せてくれることを期待しています。

こういった状況下でのスタートとなりましたが、今学期も日々の教育活動を大切にしながら生徒一人一人の成長をしっかりと支えていきたいと思えます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。